圏央道 東金JCT（とうがね）↔ 木更津東IC（きさらづひがし） 4月27日（土） 14時 開通

ちば圏央道の開通による効果

〔①広域ネットワークの形成〕

●圏央道の開通で、新たな広域ネットワークが形成されます。

・東関東道やアクアライン・館山道・千葉東金道路ルートに加え、成田空港エリアと羽田空港エリアを結ぶ、新たなルートが形成されます。

・都心部への通過交通が抑制されるとともに、郊外から都心部への交通の分散導入などが期待されています。

・東日本と西日本を結ぶ新たなルートとして、千葉県内と全国各地とのアクセス向上にも寄与します。

〔②災害時の道路ネットワークの強化〕

●内陸部に位置する圏央道の開通により、災害時のネットワークが強化されます。

・災害時に内陸部から東京湾岸部および県東部沿岸部の啓開・復旧ルートへアクセス可能となります。また、開通済み区間との接続により防災拠点などへのルートが確保されます。

〔③観光の支援〕

●圏央道の開通により、観光地までのアクセスが向上します。

・高速道路ICから30分で到達できるエリアが中房総地域全体に広がり、千葉県内の観光地へのアクセス向上による魅力度向上に期待が寄せられています。

〔④医療圏域の拡大〕

●圏央道の開通により、第三次救急医療施設へのアクセスが向上します。

・沿線地域から君津中央病院（第三次救急医療施設※）までの 搬送所要時間が短縮され、救命活動の向上が期待されます。

※第三次救急医療施設：重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤救急患者に対し、高度な救急医療を総合的に24時間体制で提供可能な機能をもつ病院